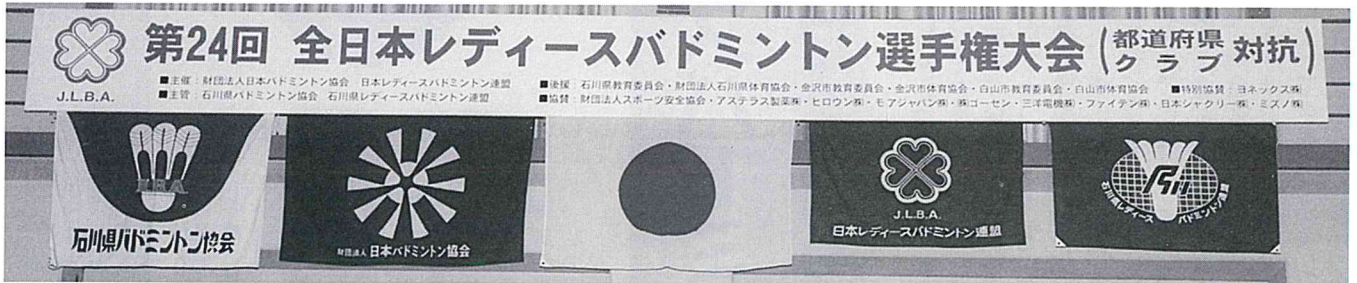


日本レディースバドミントン連盟だより

Vol.6



J.L.B.A.



第 24 回 全日本レディースバドミントン選手権大会

2006 年 7 月 27 ~ 30 日

金沢市総合体育館
松任総合運動公園体育館



主管をされた石川県レディースバドミントン連盟役員の皆様

選手宣誓 石川県 A チーム 松本 智子
津幡 クラブ 奥本 敏美

平成十九・二十年度

役員改選

平成十一年より八年間にわたって日本レディースバドミントン連盟会長としてご尽力いただいた清水 務氏が辞任され、平成十三年より六年間副会長として会長を補佐していただいた藤田庸右氏が、次期会長として役員選考委員会に於いて推挙され、平成十九年度総会に於いて推載される。又、副理事長 上田光代氏（大塚）の辞任に伴い、後任として白井カズ子氏（香川）が就任委嘱される。

新会長紹介



藤田 庸右 氏

財団法人日本バドミントン協会監事を経て現在近畿バドミントン協会会長、奈良県バドミントン協会会長。元フジチュー（株）会長。同社社長在職中には実業団リーグに参戦、松浦進二選手、水井妃佐子・泰子選手を擁しての活躍は記憶に新しい。現在活躍中のオリンピック代表佐藤翔治（NTT東日本）選手も、そのスタートは同社チームであった。氏の実戦に基づいた組織運営と育成の手腕は、日本レディースバドミ

ントン連盟に一陣の風を呼び込んでもらえるものと期待される。
現在は、若き日のインターハイ出場以来五十年ぶりにラケットを握り、週一回地元チームで汗を流している。両親や祖父母と一緒にスポーツを楽しむジュニアを見ていると、「健全な家庭に健全な子供は育つ」ことを実感すると話される。「その意味でも、レディース連盟の活動を応援したい。出来る場所、出来ることがあればお手伝いさせていたたく。」という頼もしいお言葉を頂いている。奈良県出身。趣味は只今水墨画に挑戦中。

第24回全日本レディースバドミントン選手権大会



期日 平成18年7月27日(木)～30日(日) 会場 金沢市立総合体育館・白山市松任総合運動公園体育館

石川県レディースバドミントン連盟

理事長 片山 一美

平成十八年七月二十七日～三十日

金沢市総合体育館、白山市松任総合運動公園体育館の二会場に於いて、第二十四回全日本レディースバドミントン選手権大会、都道府県対抗、クラブ対抗に八十七チーム、八九名の選手を迎えて開催致しました。大会準備に入りそうそうに予定の新しい石川県体育館の完成は平成二十年にずれ、湿気多い北

陸では冷房が入る体育館探しへと初っぱなからつまずきました。それでクラブ対抗の方には交通の不便をおかけしました。幸いに怪我人も出さずすみうれしい限りでした。かつて『金沢は周遅れのトップランナー』と言われた様に北陸人の腰は重いのです。前を行く走者を見ながら動き出すくらいなので役員すら六月に入ってから目の前に人参加ぶらさがった馬の状態でした。開会式で全国の皆様の行進を見ているだけで私の涙腺は緩み熱い物がこみ上げてきました。二十八日～三日間二会場で熱戦

が行われその間色々反省する事もありました。この場をおかりしてお詫び申し上げます。
石川県内の会員には全国大会がハイレベルで華やかで年令の高い方々の素晴らしいプレーに「うちのチームも勝つて欲しい、見ていただけで涙が出るわ。」と話してくれました。又観戦に来ていた人から「もっとバドミントンを続けて行こうと思っただわ。」と言っのを聞き、開催出来た事、全国大会の素晴らしさ、出会い、感動を与えて頂いた事、やって良かった。スタッフ一同苦労も忘れ、楽

しかった良い思い出になったと喜んでくれました。
今後の石川県レディース連盟も、もっと飛躍すると確信しました。
ご協力・ご支援を頂きました協賛会社、日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟の役員、事務局の皆様からご指導を頂き無事終了出来ました事、感謝申し上げます。
最後にレセプションで楽しく盛り上げて頂きました熊本県レディースの杉山様以下選手の皆様には心より御礼申し上げます。



クラブ対抗戦 1位 永井BC (岡山県)



都道府県対抗戦 1位 大阪府



クラブ対抗戦 2位 双葉 (愛媛県)



都道府県対抗戦 2位 埼玉県



クラブ対抗戦 3位 Aone (宮城県)



都道府県対抗戦 3位 東京都



クラブ対抗戦 3位 津幡クラブ (石川県)



都道府県対抗戦 3位 兵庫県

5位	5位	5位	5位	3位	3位	2位	1位	順位
みと (茨城県)	松山 レディース (愛媛県)	狭山竹の子 (埼玉県)	名古屋名城 (愛知県)	津幡 クラブ (石川県)	Aone (宮城県)	双葉 (愛媛県)	永井BC (岡山県)	クラブ対抗戦

5位	5位	5位	5位	3位	3位	2位	1位	順位
香川 県	宮城 県	福岡 県	千葉 県	兵庫 県	東京 都	埼玉 県	大阪 府	都道府県対抗戦

第24回全日本レディースバドミントン選手権大会
成績表

第1回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)

期日 平成19年3月1日(木) 2日(金) 3日(土) **会場** 東大阪市立総合体育館

大阪府レディースバドミントン連盟

副理事長 廣瀬 園子

第1回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)を、西日本大会誕生の地であるここ大阪府東大阪市で開催、大阪府バドミントン協会・大阪府レディースバドミントン連盟が主管させて頂くことができて大変光栄でした。個人戦が第1種大会として初めての大会です。順調にスタートが切れるよう、大変緊張しながらも皆で知恵を絞って、心に残る満足できる大会を目指しました。

しかしふたを開けてみると、思わぬ事が起こったり、進行が早いはずのラリーポイント制も予想外に時間がかかったのにはあわてました。それでも微調整をしながら、翌日は工夫をして運営面に生かし、参加選手のご協力とスタッフの頑張りで、無事3日間を乗り切る事が出来ました。徐々にフロアは全国各地からの選手で埋まり、観覧席もいっぱい、会場が一つになりどよめいている光景は、まさしく華やかな全国大会の盛り上がりで感動しました。

全国の皆様ご来阪有難うございました。来年は東京でお会いしましょう。そしてこの個人戦が素晴らしい大会に発展するよう、これからも応援したいと思います。

種目	優勝	準優勝	3位
1部	常井 理佐 岡田 順子 (桜ヶ丘クラブ・清水クラブ [大阪])	竹田由美子 希有ユミ子 (東大阪M.B.C [大阪])	高橋 律子 宮脇 美保 (雄飛 [京都])
2部 Aブロック	瀬川 友紀 黒田こずゑ (YMC・Queen [鳥取])	園部 千晶 濱上 由紀 (桜ヶ丘クラブ [大阪])	武智悠里子 立田あずさ (松山レディース [愛媛])
2部 Bブロック	畑末絵理香 大東恵里子 (川西・三田ウイングス [兵庫])	近葉 裕子 岡田 忍 (シニア [福井])	奥本 敏美 前田美和子 (津幡クラブ [石川])
2部 Cブロック	井上みどり 長谷 松代 (フレンドリークラブ [大阪])	近藤 晴美 安 雅子 (湖南レディース [滋賀])	福島伊津子 筒井 彩子 (シャトルズ [京都])
2部 Dブロック	松原 春美 井下由紀子 (広島スウィング [広島])	竹林佐代子 桑島 美苗 (丸亀ドリーム・ハーティーパーティー [香川])	古賀ひとみ 川谷 明子 (クリアレディース [福岡])
2部 Eブロック	林 美津代 北原美恵子 (門真クラブ・桜ヶ丘クラブ [大阪])	田代千知子 知念小夜子 (オーロラ・レインボー [神奈川])	佐竹 豊子 梅田 眞澄 (AA・FCC [福岡])
2部 Fブロック	森藤 久美子 民谷 千寿子 (ソアー [岐阜])	大同 君枝 木村 美智代 (札幌まざー・岩見沢シャトル [北海道])	松村 和美 上野 富江 (防府/バド同好会 [山口] 下関バドミントン同好会)
2部 Gブロック	土庵 清子 南浦 百合子 (西華クラブ・春円クラブ [奈良])	小守 一枝 篠原まさ子 (湯島・すてっぴ [東京])	伊藤 良子 平野 あき子 (りんどう・りんどうC [長野])
2部 Hブロック	鈴木 八重子 松木 三枝子 (スマッシュクラブ・三鷹ロビンス [東京])	一木 房枝 山下シノブ (とびうめ・城南HI [福岡])	成川 睿子 下川 敏子 (いちょう・はまなん [神奈川])
2部 Iブロック	谷 絢子 山下 善子 (国立アクティブ・どんぐり [東京])	高松 照代 荻野 育子 (本庄天道虫・大村パール [埼玉/長崎])	河村 郁子 小川 末子 (広島エコークラブ・春日リリース [広島/福岡])

参加人数：804名





大阪府レディース連盟役員、スタッフの皆様



1 部

常井 理佐 大阪 桜ヶ丘クラブ
岡田 順子 大阪 清水クラブ

栄えある第1回大会で、しかも地元大阪で開催のこの大会で優勝できた事がとてもうれしいです。お互いにチームは違いますが、気の知れたパートナーと楽しく試合が出来ました。エンジンのかかりは遅いが、緊張が途切れなかったのが良かった。応援どうもありがとうございました。



2 部 (C) ブロック

井上みどり 大阪 フレンドリークラブ
長谷 松代 大阪 フレンドリークラブ

記念すべき第1回大会にしかも大阪で優勝することができて大変嬉しく思います。ありがとうございました。



2 部 (B) ブロック

畑末絵理香 兵庫 川西
大東恵里子 兵庫 三田ウィングス

今回の記念すべき第一回全日本レディースバドミントン大会に参加できた事を光栄に思います。又、三日間と云う試合をサポートして下さった大阪バドミントン協会の方々にも感謝します。私達はクラブも年代も違うペアで戦いこの三日間、ダブルスの醍醐味を楽しみました。このレディースの試合がますます繁栄する事を祈ります。



2 部 (A) ブロック

瀬川 友紀 鳥取 YMC
黒田こずゑ 鳥取 Queen

ありがとうございます!とにかく嬉しいです。ここまでくのに2人共いろいろあったので、本当に夢のようです。これも私たち2人を応援してくださった方々のおかげです。これを機にますますバドミントンを楽しんじゃいます。



2 部 (F) ブロック

森藤久美子 岐阜 ソーククラブ
民谷千寿子 岐阜 ソーククラブ

記念すべき第1回大会なので、記録に残したいと思い頑張りました。思いがけず優勝できて本当にうれしいです。東日本勢の参加が思いのほか少なくて残念でしたが来年の大会では対戦できることを楽しみに、目標をもって、これからの1年練習に励みたいと思います。大阪の皆様お世話頂きありがとうございました。



2 部 (E) ブロック

林 美津代 大阪 門真クラブ
北原美恵子 大阪 桜ヶ丘クラブ

本年度全日本団体戦共に全勝で優勝する事が出来、とても幸せです。第2回に向けパートナーと共に一生懸命練習して2連覇を目指したいと思います。この様な記念すべき大会で優勝出来本当に有難うございました。



2 部 (D) ブロック

松原 春美 広島 広島スウィング
井下由紀子 広島 広島スウィング

第1回の記念すべき大会で優勝出来て、今は嬉しさでいっぱいです。長年のパートナーと息が合っ、実力が発揮出来ました。応援して下さい皆様感謝致します。



2 部 (I) ブロック

山下 善子 東京 どんぐり
谷 絢子 東京 国立アクティブ

記念すべき第一回に優勝出来たのでとても嬉しいです。これからも一生懸命やりながら楽しくやって行きたいと思えます。



2 部 (H) ブロック

鈴木八重子 東京 スマッシュクラブ
松木三枝子 東京 三鷹口ピンス

第一回全日本レディース大会(個人戦)において、晴れて優勝することが出来て、感無量です。途中、ハラハラドキドキの場面もあり、通り抜けることが出来ました。大阪レディースの皆様方、大変お世話になりまして、有がとうございました。



2 部 (G) ブロック

南浦百合子 奈良 春円クラブ
土庵 清子 奈良 西華クラブ

バドミントン生活最良のよるこびです。これを最後にしようかと思いましたが、又元気が出てきました。これからも頑張ります。70才迄!

平成19年度大会日程表

(主催 日本レディース連盟
各都道府県レディース連盟)

開催日	大会名	開催地	会場
平成19年 5月21日(月)	第3回 鹿児島オープンレディースバドミントン大会	鹿児島県	鹿児島アリーナ
6月7日(木)8日(金)	第5回 北海道よさこいそ〜らんオープンバドミントン大会	北海道	北海道立総合体育センター
6月24日(日)	第6回 マドンナオープンレディースバドミントン大会	愛媛県	松山市総合コミュニティセンター 体育館
6月26日(火)27日(水)	第14回 福島オープンレディースバドミントン大会	福島県	郡山総合体育館
7月19日(木)~21日(土)	第25回 全日本レディースバドミントン選手権大会 都道府県対抗・クラブ対抗	愛媛県	愛媛県武道館 松山市総合コミュニティセンター
8月18日(土)~19日(日)	第34回 京都オープンレディースバドミントン大会	京都府	京都府立体育館
9月26日(水)	山口県レディース連盟結成記念大会	山口県	山口市総合文化センター
10月2日(火)	第22回 広島レディースオープンバドミントン大会	広島県	広島サンプラザ
10月4日(木)5日(金)	第3回 マザーレイクフェスティバルバドミントン大会	滋賀県	滋賀県立体育館
10月19日(金)21日(日)	ゴーセン杯第13回 国際親善レディースバドミントン大会2007	大阪府	大阪府立体育会館
10月末予定	第5回 大江戸オープンバドミントン大会	東京都	東京都台東リバーサイド体育館
11月15日(木)16日(金)	第20回 奈良オープンレディースバドミントン大会	奈良県	奈良県立体育館
11月18日(日)	第6回 徳島オープンレディースバドミントン大会	徳島県	北島北公園総合体育館
12月6日(木)7日(金)	第2回 兵庫オープンレディースバドミントン大会	兵庫県	宝塚市総合体育館
平成20年 1月26日(土)	第5回 湯けむりオープンレディースバドミントン大会	大分県	別府市総合体育館
1月28日(月)~31日(木)	第14回 愛知オープンレディースバドミントン大会	愛知県	名古屋市天白スポーツセン ター
2月25日(月)~27日(水)	第2回 全日本レディースバドミントン競技大会	東京都	東京体育館
3月14日(金)	第12回 千葉・菜の花オープンバドミントン大会	千葉県	千葉市ポートアリーナ
3月27日(木)	第34回 長崎レディースバドミントンオープン大会	長崎県	長崎県立総合体育館

ブロックだより

北海道ブロック 理事

遠藤 静子

平成18年4月より、北海道レディースバドミントン連盟、発足の時以来理事長をされておりました。島中玲子さんの後を継ぎ就任させて頂きました。

20年間という区切りを経て、先輩達が大変な努力の基に築き上げていただいたものを大切に、貴重な財産として、新たな連盟を皆様に支えていただきながら、一生懸命にがんばって行きたいと思えます。

しかし、今、北海道では20代・30代の女性が多くなってからも仕事を続けるという事が多く、バドミントンに力を入れていけないと言っているのが現実の様で私たちがその現実をどうの様に受け止めていけば良いのか？

現在も登録者は年々、高齢者の人が多くを占めているのが現実です。試合の参加も30代・40代・50代に分けると50代以上が番多く、20代・30代においては一緒のリーグで試合を行なわないと3・4回のリーグ戦が出来ない有様です。本年度から登録が全ての女性になった事で増える事を期待しながら、選手の皆さんがより多くの試合を楽しんで頂ける様に試行錯誤しながら、考えて行かなければならない時代だと思えます。

東北ブロック 評議員

山形県 伊藤みち子

今冬の山形は、暖冬で、年が明けても積雪は皆無。ときどき春めいた日差しがさし

御陰様で練習会場の体育館には雪がきて疲れる事なく軽やかに通っております。

平成18年11月11日、12日に第13回東北地区レディースバドミントン大会を六年ぶり山形市総合スポーツセンターで選手127名、役員、審判含めて総勢250名で盛大に開催いたしました。11日には天童温泉で東北ブロック役員総会、監督会議、開会式、レセプション。レセプションでは「マカシヨマカシヨ、シャンシャンシャン」のかけ声の花笠踊りで始まり、最後のフィナーレは皆様全員での花笠踊りで終宴という具合で大いに盛り上がりました。12日試合当日は、前日のほころんだ顔とは別人で集中した試合は、とても感動いたしました。

東北大会は年一回開催されますが、開催地の苦労、大変さがありますが、東北ブロックの交流を図る為には、役員、会員一同丸くなって喜んでいただけるよう頑張っております。

19年度は、福島県での開催です。山形県では気を引きしめ、練習を重ねて一歩ずつ前進したいとレディース連盟同応援しているところです。

関東ブロック 評議員

埼玉県 清水 公子

平成18年11月28日(火)、埼玉県彩の国くまがやドームにおいて関東レディース連盟主催で、第1回関東レディースクラブ対抗大会を開催いたしました。この大会は経験未経験者合同のクラブチーム編成で、(全国大会、関東ブロック予選会選手は不可)各都

県代表4チーム32クラブの参加でリーグ戦のちトーナメント方式で行われ、予選リーグから、歓声あり、奇声あり、長いラリーの応戦に全員が息もせず一喜憂ししながら今日中に試合が終わるのかと思うほどの大熱戦でした。

同クラブの団体戦の楽しさを間近に見てこの大会が始まって良かったなと思いました。

試合結果1位山梨県ハニーズ、2位埼玉県坂戸ウイングス、3位神奈川県レインボークラブでした。ケガ人もなく無事終了し、皆様のご協力に感謝し、今大会が益々発展していく事を願っています。来年は栃木県で行われます。

北信越ブロック 評議員

福井県 小林喜美代

北信越ブロックでは5月21日長野県松本市で、北信越クラブ対抗大会、全日本クラブ対抗ブロック予選会を開催し、白熱した団体戦が行われました。

ブロックでの活動としてはこの大会のみなので、個人戦の大会の検討もしてきましたが、日程、体育館確保等の諸問題で現時点では、この大会を大勢の選手が参加出来るのしめる大会にすることにし、今回も参加資格等前年度より手直しし開催いたしました。

19年度は新潟県にて開催する予定です。18年度より日本レディースの登録資格変更に伴い、20歳代、30歳代でのチーム編成とか年齢や経験を考慮する等ブロック全体の会員が参加しやすい大会にしていきたいです。変更により良い面だけではなく不都合な面も多々出てくると思えますが、ブロック全体でより良い大会が運営できるように活動していきたいと思えます。

東海ブロック 評議員

三重県 西村 孝子

静岡、愛知、岐阜、三重の四県からなる東海ブロックでは、ブロックの事業として年2回の大会を開催しております。

団体戦を5月に開催、同時に全日本クラブ対抗東海予選会も行い、個人戦を11月に行っております。

5月の団体戦は各県4チーム、計16チーム(4部のランク別のリーグ戦)。11月の個人戦は(団体戦出場者を除く)5種目の年齢枠に各県4組、計80組で行います。

個人戦はこれまでトーナメント戦だったのですが、H18年度から参加選手の充実感を考慮して予選リーグ戦を取り入れました。試合数も増えて選手の皆さんには満足いただけたと思います。その一方試合終了時間が遅くなり主婦としての帰宅時間が心配になります。

また11月の個人戦開催時に理事長会議を行い交流を深めております。今回は岐阜、愛知両県の会長にもご参加いただき、貴重なご意見お話をうかがう事ができて有意義な会となりました。

近畿ブロック 評議員

兵庫県 宿里 和江

県レディース連盟会長平方昌子 登録クラブ20、登録人数483名 年間大会は団体戦・個人戦 全日本、近畿各予選会、年代別・合連・ひまわりの会練習会。

平成18年12月4日(月)宝塚市総合体育館・末広体育館にて第10回兵庫オープンレディースバドミントン大会(すみれオープン)開催 参加68チーム、役員・選手527名、第一回すみれオープン 平成19年12月6日(木)7日(金)会場 宝塚市総合体育

館 多数のご参加をお待ちしております。

また、7月の金沢市総合体育館にて開催の全日本大会、都道府県対抗で兵庫県チームが12年ぶりの第三位入賞。選手は全日本強化日程調整に四苦八苦しながらも頑張り強豪京都に勝って波にのり好成績はチームワークの勝利!! 連盟として嬉しい報告の一つです。第二回全日本大会(個人戦) 選手達の素晴らしいプレーを観戦できること楽しみにしています。

中国ブロック 評議員

岡山県 磯永 由美

全日本クラブ対抗で、永井BC(岡山県)が優勝。

日レの登録クラブ数が、30チームに満たない岡山県にとつて、クラブ対抗で全日本に出場するためには、中国ブロック2位以内に入らなければなりません。ようやくその切符を手にしたのが永井BCで平成10年でした。その翌年の平成11年にはなんと全国3位に入賞しました。平成12年は前回3位のため出場資格制限で参加できず、平成13年は中国ブロック3位となり、全国への道は閉ざされましたが奮起を誓い積極的に他県への遠征や試合参加などの努力が実り、平成14年以降は連続して全国へ挑戦してきました。しかし、年齢は高くなるしなかなかベスト8の壁は厚く優勝は遠のいていました。「今回、楽しんでベストを尽くすことに気持ちよかったですね、楽しんで挑んだことがよかったのかもしれない。大会会場では、同じ中国地区の方々に応援の声をかけていただき本当に心強い力になりました。ありがとうございます。」(藤本監督)

中国地区で初優勝! 地方のクラブでも頑張ればできると感じた道のりでした。

四国ブロック 理事

愛媛県 岡田 竹美

四国ブロックでは、年一回、五月に全日本クラブ対抗四国地区予選会と合わせて、一部4部のレバニラ別対抗戦を行っております。今年度は、高知県で二十九チームが参加し、四県の交流を深めながらさわやかに大会が行われました。それぞれが目標を持ち、レバニラに繋がれば幸いです。

さて、平成十九年七月には愛媛県松山市にて第二十五回全日本レディースバドミントン選手権大会が開催されます。当初の日程は、全国高校総体と重なるということの変更、そしてその変更した日は、参議院選挙で試合予定会場が開票所となる為また変更。五年前から全国大会を松山でと名乗りをあげ、準備を進めて参りましたが前途多難な船出となりました。しかもラリーポイント制になって初めての団体戦です。どうなりますやら……。

ですが先日、松山城の改修工事も終わり、この坂の上の雲の街で気持ち良く選手の皆様をお迎えできることと思います。試合で汗を流した後は、ぜひ道後温泉で疲れを取っていただきたいです。ご参加を心よりお待ちしております。

九州ブロック 評議員

沖縄県 伊佐喜代美

めんそーれ 沖縄へ

第28回全九州レディースバドミントン競技大会が平成18年10月22日、那覇市民体育館で開催されました。参加チーム45。10月とはいえ沖縄はまだまだ夏模様。30才代から60才代、318名のパワーが炸裂。暑い体育館の中で汗と体力の熱い戦いが繰り

広げられました。

今回で3度目を迎える沖縄大会ですが、初めての10月開催で、台風の心配もしましたが無事終了する事ができました。

鹿児島大会に初参加してから18年が過ぎましたが、歴史の浅い分これからも皆で力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

又今大会に御協力頂きました役員、沖縄レディース会員の皆様、九州各県から参加頂きました選手の皆様、有難うございました。第29回は9月30日に福岡で開催予定です。

第28回 全九州レディースバドミントン競技大会 成績表

平成18年10月22日 那覇市民体育館

	第1位	第2位	第3位	
30歳代	熊本	沖縄	佐賀	宮崎
40歳代	大分A	沖縄	福岡	鹿児島
45歳代	福岡A	鹿児島A	宮崎	沖縄
50歳代	沖縄	長崎A	大分	熊本A
55歳代	熊本	福岡	大分	沖縄
60歳代	福岡	鹿児島	長崎A	大分

編集後記

待望の第二回全日本レディースバドミントン競技大会個人戦も無事終了し、各々の栄えある第1回覇者となった選手の皆様はまだ喜びの余韻をかみしめているかもしれません。昨年の七月全国大会団体戦で大変お世話になった石川県レディース連盟の皆様、能登半島地震は大丈夫だったでしょうか。お見舞い申し上げます。毎日が平穏無事に過ぎるのが当たり前と思っても何時なにか起きるかわりません。毎日を大切に、そして愛してやまないバドミントンを末長く楽しみたいものだと思います。新年度も始まり連盟組織も大きく変容を遂げようとしています。藤田庸石会長を中心に連盟が益々強固な価値ある組織として活動出来るよう会員皆様の尚一層のご協力をお願いいたします。今年も各地からの便りをたくさん頂きました。感謝しつつ第六号をお届けします。

《広報部員》

白井カズ子 島中 玲子
小川 末子 堀米喜美子

発行

日本レディースバドミントン連盟
大阪府八尾市福乃寺町南 二四三一一八

TEL 072-913-7015

FAX 072-913-0011

E-mail nichij@kawachi.zaq.ne.jp

URL http://www.15.ocn.ne.jp/~sports/

編集責任者

村井 広美

印刷所

株式会社 美巧社

編集

株式会社 美巧社

